

令和 8 年 1 月 6 日

令和 7 年度 III 類卒業研究 B・輪講 B の審査について

1. 提出物について

1 月 30 日（金）17 時（所属研究室のプログラムが別に定める場合がある）までに以下のものを下記に指定された提出先に提出すること。提出物に記載する論文題目に相違がないように十分注意すること。

(1)卒業論文（媒体：紙に印刷したもの 1 部，提出先：指導教員）様式は別紙参照。

(2)卒業研究審査願（提出先：**google form**）ファイルの提出は不要です。下記の **google form** に必要な情報（学籍番号、氏名、指導教員名、卒業論文題目）を記入して“送信”してください。

<https://forms.gle/HjtCN4Q4v4rsnEXU6>

“送信”後、自動でメールが送信されますので、**必ず自動送信メールの受信を確認してください。**

(3)卒業研究発表会用要旨（媒体：PDF ファイル，提出先：所属研究室のプログラムが指定）テンプレートファイルあり。（P1 研究室所属の学生は様式 A-1, P2~P5 研究室所属の学生は様式 A-2）

(4)輪講学習リスト（媒体：PDF ファイル，提出先；所属研究室のプログラムが指定）テンプレートファイルあり（様式 B）。輪講や卒業研究の中で、読んで勉強した論文・書籍（過去の卒論や修論も可）の一覧を A4 紙 1 ページにまとめる。審査において、輪講 B の単位認定根拠となる。

2. 卒業論文のチェック

提出された卒業論文については、指導教員が押印した後に、プログラム内にてチェックを行う。チェック後、卒業論文はチェックシートとともに指導教員を経由して卒研生（執筆者）に返却する。

3. 卒業研究発表会

2 月 13 日（金）までに所属研究室のプログラム毎に 1 日で実施。自分の発表会場の発表を全て聴講することが望ましい。卒業研究発表会を対面、遠隔のいずれかで実施するかは各プログラムの判断に委ねる。

4. 評価

卒業論文や卒研発表会の内容が不十分の場合には、卒研再発表などを求められる場合がある。

5. 卒業研究 B・輪講 B の担当教員

機械システムプログラム	永松先生：H.nagamatsu@uec.ac.jp
電子工学プログラム	中村淳先生：jun.nakamura@uec.ac.jp
	曾我部先生：sogabe@uec.ac.jp
光工学プログラム	武者先生：musha@ils.uec.ac.jp
物理工学プログラム	谷口先生：tany@phys.uec.ac.jp
化学生命工学プログラム	白川（英）先生：hshrkw@uec.ac.jp
	三瓶先生：gsampe@uec.ac.jp

## 卒業論文の作成と卒業研究発表会の注意事項（別紙）

### 〔卒業論文〕

卒業論文は、卒業研究発表会で回覧し内容と形式を下記に沿って審査する。提出日以降の変更、卒業研究発表会でのコメントを考慮した修正などを行い、指導教員が確認を行う。その後各研究室で保管し後輩が随時参照する。

#### 1. 用紙

縦 A4 版用紙で横書きとする。用紙の余白は左側を 3cm 以上、その他を 1cm 以上とり、右肩にページを記入する。

#### 2. ファイル

ファイルの表紙および背表紙は図 1 のようにする。左綴じ。

#### 3. 内容

論文執筆に際し、以下を参考にすること。

- ・ 論文構成：表紙、目次、緒言、本文、結論、謝辞、参考文献、
- ・ 付録は章としない
- ・ 図・表にはそれぞれ章通し番号と見出しをつける。

令和七年度卒業論文 題目 氏名	令和7年度 卒業論文 論文題目
	類名 プログラム名 学籍番号・氏名 指導教員名 提出年月日
	指導教員印

図1 ファイルの体裁

### 〔卒業研究発表会用要旨〕

要旨を各自作成し、各プログラムの定める指示に従って提出すること。（別紙フォーマットあり。P1 研究室所属の学生は様式 A-1, P2~P5 研究室所属の学生は様式 A-2）

### 〔卒業研究発表会〕

卒業研究発表会では、次の事項を考慮して卒業研究の単位認定が審査される。提出卒業論文の審査も併せて行う。

1. 要旨や卒業論文はわかりやすく記されているか
2. 発表の資料は見やすくできているか
3. 内容を理解しているか
4. 自分で行った部分はどこか
5. 発表時間の制限内にまとめたか
6. 発表態度
7. 質疑への応答